

冊数 16

区 分

引継公文

課 名

営 業 課

種 類

調査物

冊 名

金 融 経 済 月 報

保 存 年 限

永 久

起 終 年 月

自 昭 和 16 年 1 月 至 昭 和 17 年 6 月

引 継 年 月 日

32.5.24

廃 棄 予 定 年 月

昭 和 年 月

保 存 番 号

9

箱 架 番 号

7579

旧番号

7587

冊数 16

繼公文

業 課

調査物

融 經 濟 月 報

永 久

昭和 6 年 1 月至昭和 17 年 6 月

32.5.24

昭和 年 月

9

区分

引 繼
公 文

課名

營 業 課

種類

調 査 物

冊 名 保存年

金

融

經 永

濟 年

月

起終年月

自昭和 16 年
至昭和 17 年

登録年月日

32.5.24

廢棄予定年月

保存番号

9

箱 番号
書架

控

昭和十六年一月三十一日

松本支店長

總裁殿



一月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候



昭和十六年一月中金融報告

松 本 支 店

- 一、年末資金回歸順調、現金流動徑路變化
- 二、當地銀行ノ融資難
- 三、製糸資金回收鈍化
- 四、銀行等資金運用令ノ申請受付狀況

一、年末資金回歸順調、現金流動徑路變化

更年後預貯金ノ増勢著シク取引先普通銀行預金ハ月央迄ニ四百二萬圓増ト前年ノ二倍ニ上ル好調ナリシカハ各銀行共手許ハ著シク寛ロキ、當店貸出ヲ完済セル外、中央市場ヨリノ借入金モ大部分返済スルニ至レリ。月央後ハ當地方ノ居喰期ニ入り、商業界愈沈滞シ差シタル資金需要ナク金融極メテ低調ヲ續ケタリ。

斯クテ案外多額ニ上リシ年末資金モ前記銀行預金増加ノ外郵便局過超金受入多額（月央迄ニ四百十萬圓前年同期ニ比シ百萬圓増）モ手傳ヒテ還流極メテ順調、當店兌換券ハ二十二日迄還收超ヲ續ケ累計二千四百三十萬圓ト年末流出額ノ一一三、〇%ニ達シ昨年ノ一〇八六%ニ比シ

更ニ良化セリ。

此ノ間資金還流ノ徑路ヲ見ルニ、右銀行預金増加額中ニハ地方富裕農家ノ預入セルモノ多ク、都市商業者方面ハ正月初賣等モ行ハス商況沈衰ヲ反映シ目立チタル預ケ入レモナカリシ模様ニテ、結局昨年末米穀代金トシテ信用組合ヨリ支拂ハレタル資金カ地主階級ニヨリ銀行へ運ハレタルモノト見ラル。最近地方富裕農家ハ資産ノ秘密ヲ守ランカ爲大口ノ預金ハ自村ノ信用組合又ハ銀行支店ヲ避ケ態ト都市ノ銀行ニ持チ來ル傾向アリ、而モ米穀ノ大量出荷者ハ地主其他富裕農家ナレハ今回ノ集荷機構改變ニヨリ米穀出荷期ニ於テハ現金カ信用組合ヨリ出テ、銀行ニ還流シ、繭出廻期ニ於ケルトハ全ク逆ノ徑路ヲ辿ルニ至レリ。

斯クテ銀行ハ米穀出荷期ニハ餘剩資金多ク、繰出廻期ニハ資金欠乏スルコト、ナリ、當地金融ノ季節性ハ從來ニモ増シテ濃化スルコト、ナルヘシ。

二、當地銀行ノ融資難

當地銀行ハ預金増加ノ一面、貸出ハ最近益々振ハス、從來ノ得意先タル商人方面ハ配給統制強化ニ因リ資金需要減退、今ヤ餘資ヲ擁シテ其ノ處分ニ惱メリ。而モ之カ運用トシテノ公社債ハ預金コスト高キ爲採算薄キノミナラス、廳テ製糸資金需要ニ應スル關係上資金ノ固定ヲ避クル必要モアリテ積極的ニ之カ買入ヲ行ヒ得ス、從ツテ目下米穀出荷期トテ米穀組合方面ニ資金需要アルヲ幸ヒ此ノ方面ニ融通セル外、重

役關係アル事業會社方面ニ短期信用貸ニテ資金ヲ賣リ込ミ、又斯カル關係會社ナキ向ハ證券業者ヨリ單名手形ノ買入ヲナシ居ル狀況ニテ、之方爲メ一時的ニ資金手詰リヲ來タシ當店ニ融通ヲ求ムル等ノ變態現象モアリタリ。因ニ第五回特別興業債券ニ對スル應募額左ノ如シ。

特別興業債券

六一〇 千圓

割引興業債券

五八八

計

一一九八 (申込額 一、三〇〇千圓)

三、製糸資金回收鈍化

蠶糸業ノ一大轉換期ニ當リ、製糸資金回收狀況ハ最モ注目セラレ居ル處ナルカ、一月十五日現在ニ於ケル管内銀行ノ製糸資金貸出残高ハ三

千八百七十四万圓ニシテ最高期タル十月央ニ比シ千四百八十八万圓三九八%ノ收縮ニ過キス、然モ同收率ハ前年ニ比シ稍低率、且最近ニ至ル程低下ノ傾向強キハ特ニ注目ヲ要スルトコロナリ。

管内銀行製糸資金回收狀況

	回收額		回收率	
	本年度	前年度	本年度	前年度
十月十五日―卅日	一、六一四千圓	一、四〇五千圓	四〇五%	三、二二%
十一月 中	六四五九	七六〇〇	一六二一	一七四二
十二月 中	四六四八	五七一―	一一六六	一三〇九
一月一日―十五日	二、一五九	三、八三六	五四一	八七九
合 計	一、四八八〇	一、八五五二	三七三四	四二五四
端境期以降最 高期迄増加額	三九八四三	四三六〇五	一〇〇、一	一〇〇、一

更ニ月末近クニハ輸出生系出荷制限行ハレ、延イテ強度ノ設備益數封
 印ノ實現不可避ヲ豫想セラ、ニ至リ、製糸資金ノ回收遲延ハ最早免
 レサルトコロトナリタリ。加フルニ現在ノ繭及生糸ノ擔保價格ハ左表
 ノ如ク何レモ時價一杯ノ所ニ在レハ金融業者ハ生糸界ノ推移如何ニ多
 大ノ關心ヲ寄セ居レリ。

管内銀行繭及生糸擔保貸出額（一月十五日現在）

	擔保數量	貸出額	當り貸出額	同上生糸 一俵換算
繭	三三三八二七石	二二五七六千圓	六七圓六	一、一六一圓
生糸	二七六五捆	一、九四三	七〇二、九	一、一六四

四、銀行等資金運用令ノ申請受付狀況

本令ノ施行セラル、ヤ時恰モ製糸金融ヲ主體トスル當地方金融界ノ閑散期ニ當リタレハ直チニ許可申請ヲ要スヘキ貸出尠ク、月中ノ申請受付ハ僅ニ二十三件、内大部分ハ米穀其他ノ組合ニ對スル運轉資金ノ貸出ニシテ最近ニ於ケル配給機構ノ改變ニ伴ヒ新ニ資金ノ必要生セルカ借入ノ実績ナキニ因ルモノナリ。

尙當地金融業者ノ一部ニハ實施ニ依リ業務上多大ノ掣肘ヲ受クヘントナシ危懼ノ念ヲ抱キタル向アリタルモ、其ノ實施セラル、ヤ法自體ニ案外ノ裕リアルト本行取扱ノ迅速ナルニ安堵シ本令ノ運用ハ極メテ圓滑ニ行ハレツ、アリ。

(一) 當店主要勘定

		一	前	前年
		月	月	同月
兌換券	發行	一、三九四 <small>千圓</small>	二、三〇四一 <small>千圓</small>	一、四五七 <small>千圓</small>
還收	還收	二、三六二三	六、二〇四	二〇、四一八
還收	超	二、二二九	(發行超) 六、八三七	一、八九六一
爲替	流入	一、七五〇	一、五六五〇	二、二八〇
流出	流出	一、四五八〇	三、五七〇	一、六五九〇
出超	出超	一、二八三〇	(入超) 一、二〇八〇	一、四三一〇

(二) 取引先普通銀行主要勘定

	一月廿日現在	前月末比	前年一月末比
預金	一七八五八〇 <small>千圓</small>	(+) 二八五三 <small>千圓</small>	(+) 五〇八六二 <small>千圓</small>
借用金	三五〇〇	(-) 七五〇〇	(-) 一三八〇
貸出	九七二二一	(+) 三五八九	(+) 八一〇七
内製糸資金	三八三三一	(-) 二五七五	(+) 一〇二四
コイル口シ	四〇〇	(-) 一四〇〇	(+) 二五〇
所有々價證券	五九八三九	(+) 一〇三一	(+) 三〇六六九
内國債	二九九九六	(+) 八八五	(+) 一四七八九
社債	二〇七四〇	(+) 一四八	(+) 一三三一〇

(三) 取引先普通銀行製糸資金貸出

	本年	前年	比較
一月十五日	三八七四七千圓	三九七七二千圓	(-) 一、〇二五千圓
端境期以降	三九八四三	四三、六〇五	(-) 三、七六二
最高期迄増	一四、八八〇	一八、五五二	(-) 三、六七二
最高期以降減	三、七三%	四、二五%	(-) 五、二%
同收率			

控

昭和十六年二月二十八日

松本支店長

網裁殿



二月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候



昭和十六年二月中金融報告

一、當地財界數年振りハ沈靜

二、預金貸出共ニ停頓

三、製糸資金回收ノ不安解消

四、煙草屋店頭ノ債券賣行至極良好

松
本
支
店

一、當地財界數年振りノ沈靜

當地經濟界ハ目下季節的閑散期ニ入り、積極的活動トシテハ僅ニ米穀木炭ノ出荷買上アルノミニシテ、蠶糸業界亦頃來ノ糸價好轉ニ幾分朗色見ユルモ、尙ホ沈衰ノ域ヲ脱セス、業者ハ來ルヘキ統制實施ヲ前ニ種々即應策ノ講究ニ忙殺サレ居ル現狀ナリ。

右情勢ヲ映シ金融界亦滅切り閑散、目星キ資金需要殆ントナク、月中撒布セラレタル災害土木費、木炭買上代金等ノ國庫金モ其ノ儘還流スル狀況ニテ通貨ノ收縮振り良好、當店兌換券ハ月初來二十一日迄ニ約五百万圓ノ還收超過ヲ示シ昨年同期ニ比シ百五十万圓ノ増加トナレリ。元來二月ハ季節的ニ閑散ナルカ昨年及一昨年ハ蠶糸景氣ニヨリ異例的

ニ繁忙ヲ呈シタル次第ニシテ、本年ハ數年振リノ沈靜ヲ示現セシモノト謂フヲ得ヘシ。

二、預金貸出共ニ停頓

銀行預金ハ客月増加ヲ見タル後ヲ受ケテ增勢全ク停頓、定期、特當等ノ貯蓄的預金ハ多少トモ増加シ居ルモ、當座預金ハ商業界ノ沈滯ニ却ツテ減少シ、預金總額ニ於テハ殆ント消長ナシ。一方貸出ハ製糸資金ノ回收稍良化シタリト雖モ輸出生糸出荷制限、三割六分ノ操業短縮等ニ今一息ノ感アリ、其他ノ貸出ニ於テハ各個商人、農家等ヘノ融通ハ徐々ニ減少ヲ示ス情勢ナリ。サレハ各銀行ノ手許資金ハ殆ント不動狀態ニテ、月初來貸出金ノ回收ヲ以テ借入金ノ返濟ヲ行ヒタル外ハ證券

投資等ニモ見ルヘキモノナク、地方銀行引受興業債券懸募額ノ如キモ僅カニ三十万圓ニ過キサリキ。

次ニ農村産業組合方面ニ於テハ米穀代金ノ受入ニ預金増加シツ、アル一面、季節的居喰ニヨル減少モアリテ之亦格別ノ動キナク、郵便貯金、貯蓄銀行貯金等モ亦茲許増勢一服ノ感アリ。

三、製糸資金回收ノ不安解消

管内銀行ノ本年度製糸資金回收ニ付テハ輸出生糸ノ出荷制限ニ次イテ率度ノ生産制限實施ニ多大ノ懸念ヲ抱カレ居ルモ、最近内外市場幾分好轉ノ徵アリ、糸價ハ漸ク挺入値ヲ上廻ルニ至リタレハ本月ノ回收比較的順調ニシテ月央迄十五日間ノ回收額ニ〇三八千圓、此ノ回收率

五、一、ト遂ニ前年同期ヲ凌駕シ、貸出最高期以降ノ回收率ハ四五・二％ト漸ク前年ニ接近セリ。而シテ今後ノ回收ヲ豫想スルニ、蠶糸業統制法案ノ提出ニ伴ヒ新年度制高値据置、糸價一三五〇圓堅持方針ノ發表等ニ今後ノ業界安定ヲ豫想セラル、ノミナラス、當地製糸家ハ安値夏秋繭仕入ニヨリ相當ノ利益ヲ擧ケ春繭損失ヲ大半補填シタル模様ナレハ先ツ以テ銀行ヨリノ借入ハ概ネ返済シ得ル見込ナリ。サレハ當地銀行方面モ今後日米關係ノ惡化セサル限り、多少ノ遲延ハ免レサルモ全額回收シ得ルモノト觀測シ居レリ。

管内銀行製糸資金回收狀況

十月十五日—十二月末 一 月 中 二月一日—十五日 合 計	回 收 額		回 收 率	
	本 年 度	前 年 度	本 年 度	前 年 度
一、二、七、二、一 <small>千圓</small>	一、四、七、一、六 <small>千圓</small>	三、一、九、%	三、三、七、%	
三、二、六、一	六、三、〇、一	八、一	一、四、四	
二、〇、三、八	七、二、四	五、一	一、六	
一、八、〇、二、〇	二、一、七、四、一	四、五、二	四、九、八	
端境期以降最高期 迄 増 加 額	三、九、八、四、三	四、三、六、〇、五	一、〇、〇、一	一、〇、〇、一

一、煙草屋店頭ノ債券賣行至極良好

本月賣出ノ事變國債、貯蓄債券等ノ賣行ハ霜枯閑散期ニモ拘ラス農村ノ消化力依然旺盛ニシテ引續キ良好、殊ニ貯蓄債券歡迎セラレ居ル様

様ナリ。一方今回ヨリ開始ノ煙草屋店頭賣出ハ意外ニ成績良好、旬日
ニシテ賣盡セルカ、之ハ最初ノコト、テ配布額僅少ナルニモ困ルコト
乍ラ、當地ノ如キ山國ニ於テハ從來銀行、郵便局等ノ勸誘ノ手カ及ハ
サリシ僻陬ノ地ニ限ナク債券カ行キ亘レルコトニヨルモノニシテ極メ
テ適切ナル試ミト言フヲ得ヘシ。

(一) 當店主要勘定

二月 前 前年 同月

兌換券

發行	三、五八二	千圓	一、三九四	千圓	三、三〇四	千圓
----	-------	----	-------	----	-------	----

還收	六、六九八		二、三六二	三	五、七一〇	
----	-------	--	-------	---	-------	--

還收超	三、一一六		二、二二九		二、四〇六	
-----	-------	--	-------	--	-------	--

爲替

流入	三、八八〇		一、七五〇		四、一二〇	
----	-------	--	-------	--	-------	--

流出	六、一〇〇		一、四五八	〇	三、七〇〇	
----	-------	--	-------	---	-------	--

出超	二、二二〇		一、二八三	〇	(入超) 四二〇	
----	-------	--	-------	---	----------	--

(二) 取引先普通銀行主要勘定

二月廿日現在 前月 同 日 比 前年 二 月 末 比

預金	一、七八七、七六	千圓	一九六	千圓	四、二九九三	千圓
----	----------	----	-----	----	--------	----

借 用 金	二、二〇〇	(一)	一、三〇〇	(一)	二、四〇〇
貸 出	九四一一三	(一)	三、一〇八	(十)	三、五二四
内製糸資金	三四八〇五	(一)	三、五二六	(十)	二、〇二一
コイルロ一ン	七五〇	(十)	三五〇	(一)	八五〇
所有々價證券	六〇、八九二	(十)	一、〇五三	(十)	二、八七二〇
内國 債	三〇、一二五	(十)	一二九	(十)	一、三七四一
社 債	二一、六六二	(十)	九二二	(十)	一、二八二

(三) 取引先普通銀行製糸資金貸出

二月十五日	本年	前年	比
端境期以降最高期迄増	三五六〇七 <small>千圓</small>	三六五八三 <small>千圓</small>	(一) 九七六 <small>千圓</small>
最高期以降減	三九八四三	四三六〇五	(一) 三七六二
同 收 率	一八〇二〇	二一七四一	(一) 三七二一
	四五・二%	四九・八%	(一) 四・六%



昭和十六年三月三十一日

松本支店長

支店長
次長



總裁殿

三月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候



昭和十六年三月中金融報告

松 本 支 店

一、通貨需要著減

二、銀行ノ手許依然窮屈

三、單名手形漸減

四、蠶糸業統制實施後モ當分製糸金融ニハ格別ノ變化
ナカルヘシ

五、國用糸荷動キ活潑

六、善光寺御開帳中止

七、飯田銀行松本支店開設

一、通貨需要著減

當地經濟界ノ活動ハ引續キ不活潑ニシテ、通貨ノ需要愈々減退シツ、アルモノ、如ク、月初來郵便貯金、税金等ノ國庫金引上ニ當店兌換券八月央迄ニ還收超過三百七十萬圓ニ達シ昨年同期ニ比シ百七十萬圓ノ増加トナレリ。

月央後ニ至リ農村方面ニ於ケル肥料、種子ノ購入其他農耕準備ノ爲通貨ノ需要幾分増加セルモ之ヲ昨年同期ニ比スレハ尙ホ減退ヲ示セリ。

當店兌換券狀況

		本年		昨年	
三月一日	一十五日	還收超	三、七二七	還收超	一、九六八
十五日	三十一日	發行	三、一四八	發行	三、六三七
三月	月中	還收	五七八	發行	一、六六八

物價、勞銀其他諸式昂騰セル中ニアリテ斯ク顯著ナル通貨縮少傾向ヲ示現セルハ當地財界ノ沈衰ヲ物語ルモノト謂フヘク、就中蠶糸業カ昨年以來ノ沈滯ニ加ヘ統制ノ實施ヲ目前ニシテ釜數整理、工場合同其他万事縮少的動向ヲ示セルニ起因スルコト最モ大ナリト見ラル。

二、銀行ノ手許依然窮屈

月初税金、郵便貯金等トシテ國庫ニ引上ケラレタル資金相當嵩ミ、農村ノ居喰期旁々銀行預金ハ上旬中概ネ減少傾向ヲ示セルカ、下旬ニ至リ漸ク増勢ニ轉シタル模様ナリ。一方製糸資金回收ハ頃來國用糸ノ賣行良化ヲ映シ大體順調ナリシモ、回收資金ハ概ネ借入金ノ返濟ニ當テラレ居リ各行トモ手許資金ノ餘裕ニ乏シク、當店ヨリノ借入月央三十

五万圓、月末七十萬圓ヲ算シ、興業債券引受額モ二十四萬圓ト之迄ニ
ナキ少額ニ止マリタリ。

三、單名手形漸減

取引先地元銀行ノ國債保有率ハ二月末二四・三%ニシテ全國平均二七・八
%（一月末）ニ比シ低位ニアリ、然モ單名手形保有高ハ前年末ニ於テ
總貸出殘高ノ一〇・八%ニ及ヒ、單名手形過多ノ嫌無キニアラサルモ、
元來當地方銀行ハ預金コスト高ク、加之製糸資金以外ニハ好放資口殆
ント皆無ノ状態ナレハ、製糸資金回收期ノ餘剩資金ノ一部ヲ以テスル
單名手形買入ハ或ル程度已ムヲ得サル事情ニアリ、當店ニ於テハ極力
預金利率其他コストノ低下ヲ促シツ、單名手形漸減ノ方針ヲ立テシメ、

之ト共ニ國債保有率ヲ漸次向上セシムヘク指導シツ、アリ。

四 蠶糸業統制實施後モ當分製糸金融ニハ格別ノ變化ナカルヘシ

劃期的統制法實施ヲ控ヘ、新年度製糸資金ノ動向ハ當地金融界ノ前途ニ多大ノ關係アルモノトシテ齊シク注目セラル、所ナルカ未タ統制機構モ整備シ居ラサレハ春繭ノ仕入及ヒ之カ資金ノ動キハ略々從前ト變ラサルヘク、而シテ今後統制實施ノ曉ニ於テハ統制會社カ繭ヲ一手ニ買上クルコト、ナルモ、實際ニハ舊來ノ仕入徑路ヲ可成尊重スル建前ナレハ、製糸家對特約組合ノ關聯ハ依然存續スルモノト見ラレ、旁々製糸家カ繭出廻期ニ於テ一時ニ多額ノ資金ヲ要スルハ從前ト變ラサルヘク、代金ハ實際上凡テ製糸家ヨリ直接養蠶家ニ支拂ハレ、唯統制會

社カ其ノ間ニ介在シテ帳簿上ノ決濟ヲ爲スニ止ルヘシ。結局製糸金融ノ機構ハ統制實施後ト雖モ現狀ト差シテ變化ナカルヘシト觀測セララル。尙、當地方養蠶家ハ現在ノ生産費、利潤等ヲ考慮シ今後ノ繭價十圓ヲ要望シ居レルカ、昨年ノ縣下平均繭價八十圓十九錢ナレハ現下農村經濟ノ實情ニ鑑ルモ略々妥當ナル恒價ナリト言フヘシ。

五、國用糸荷動キ活潑

久シク沈滞ノ極ニアリシ機業地モ最近國內向大衆物ノ賣行好調ニ漸ク生色ヲ取戻シ、之カ爲當地國用糸界ハ二月中旬以降頓ニ活況ヲ呈シ荷動キ頗ル活潑、相場モ九百四、五十圓（十貫建）ト一頃ニ比シ二百圓方ノ上伸ヲ示セリ。銀行方面ノ荷爲替取組高モ自然激増ヲ告ケ、資金

運用令ニ基ク對國用糸間屋基準割引殘高増額ノ申請相踵キ、注目ヲ惹ケリ。

六、善光寺御開帳中止

七年毎ニ一回舉行セラレ全國信徒ノ憧憬ノ的タル長野善光寺御開帳ハ愈々明年ニ迫レルカ、時節柄參詣人ノ食料及輸送等ノ目算立タサル爲、長野市及善光寺當局協議ノ上今回ハ中止ト決セラレタリ。即チ豫定參詣人員二百萬人、之ニ要スル米穀二萬石ハ目下ノ縣下米穀需給事情ニテハ全ク餘力ナク、縣外ヨリノ移入モ見込立タサル状態ナレハ此際物資節約ノ趣旨ニ則リ斷乎中止シタル趣ナリ。

七、飯田銀行松本支店開設

昨年三月合併設立以來ノ懸案タリシ飯田銀行松本支店ハ三月二十五日
開設セラレタリ。土地柄預金及貸出ノ積極的活動ハ差當リ困難ナラン
モ當店トノ連絡ニ好都合トナリ且ツ爲替取引ニ於テハ相當寄與スル處
アルヘシ。

(一) 當店主要勘定

三月 前 月 前年 同月

兌換券

發行

五三六一千圓 三五八二千圓 五四〇二千圓

還收

五九三九 六六九八 三七三三

還收超

五七八 三一一六 (發超) 一六六八

爲替

流入

五九三〇 三八八〇 六八七〇

流出

五〇五〇 六一〇〇 三二三〇

入超

八八〇 (出超) 三二二〇 四六四〇

(二) 取引先普通銀行主要勘定

三月廿日現在 前月同日比 前年同月末比

預金

一八〇,六四一千圓 (十) 一八六五千圓 (十) 四二,五一二千圓

借入金	一、三五〇 <small>千圓</small>	(一)	八五〇 <small>千圓</small>	(一)	一、六〇〇 <small>千圓</small>
貸出	九〇、六三八	(一)	三、四七五	(十)	八、九九四
内製糸資金	三、四一八	(一)	三、三八七	(十)	五、二〇九
コイルローン	二、〇〇〇	(十)	一、二五〇	(十)	七〇〇
所有々價證券	六、五八九	(十)	六九七	(十)	二、五一六七
内國債	三〇、一八六	(十)	六一	(十)	一、二二八八
社債	二、二七二	(十)	六一〇	(十)	一、三〇五四

(三) 取引先普通銀行製糸資金貸出

三月十五日	本年	前年	比較	
三、二四五六 <small>千圓</small>	二、八六三二 <small>千圓</small>	(十)	三、八二四 <small>千圓</small>	
端境期以降最高期迄増	三、九八四三	四、三六〇五	(一)	三、七六二
最高期以降減	二、一七一	二、九六九二	(一)	八、五二一
回収率	五三・一%	六八・〇%	(一)	一四・九%

控

昭和十六年四月三十日

松本支店長

總裁殿



四月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候

昭和十六年四月中金融報告

松本支店

- 一、管内ノ通貨益々收縮
- 二、今年ノ預貯金増加大シテ期待薄
- 三、製糸資金回收進捗
- 四、銀行ノ手許寛キ證券投資弗々
- 五、新年度製糸資金見込
- 六、市町村ニ對スル債券割當制實施決定

一、管内ノ通貨益々收縮

月初來兌換券ノ還流多ク、十八日迄ノ累計五百三十万圓ト前年同期ニ比シ二百萬圓ノ多キニ上レリ、其後八月末決濟期トテ發行超ニ轉セシモ、其ノ額遙カニ前年ニ及ハス、折柄農林省關係各種補助金百三萬圓、小學校俸給分擔金七十七萬圓等當地トシテハ比較的大口ノ資金供給相次キ行ハレタルモ、之ニ對シ目星シキ需要ナク、其ノ儘東送セラレ管内ニハ殆ント撤布セラレサル狀況ナリキ。

斯クノ如ク管内ノ通貨收縮傾向ハ既ニ數ヶ月前ヨリノ現象ニテ、年初來四月末迄ノ當店兌換券ハ二千九百八十萬圓ノ還收超過ヲ示シ、昨年春爾期以來年末迄ノ發行超過額ヲ越ユルコト四百二十萬圓ニシテ、管内ノ

通貨ハ相當減少セシモノト見ラル。之ヲ前年ノ状態ニ比スルニ左表ノ如ク此ノ間著シキ相違アリト謂フヲ得ヘシ。

當店兌換券狀況

	本年	昨年
前年六月―十二月迄 發行超	二五五四六 ^{千圓}	四〇七三八 ^{千圓}
今年初來四月迄 還收超	二九八三三	二、六八六

之カ原因ヲ按スルニ諸稅其他國庫金ノ引上増嵩ハ勿論乍ラ主トシテ管内銀行ノ貸出縮小ニ基クモノニシテ、製糸資金ハ季節的ニ同收期ニアリ、且ツ其他一般貸出亦漸減ノ傾向アルコトニ注意セサルヘカラス。即チ物資統制強化、配給組織ノ變化等ニ因ル中小商工業ノ萎微縮小ハ從來地方銀行ノ得意先タリシ之等業者ノ活動分野ヲ愈々狹隘ナラシメ

個々人ノ商業資金ハ漸次小額トナリツ、アリ、從ツテ一般消費者ノ手持ハ兎モ角商人ノ手許現金ハ一時ヨリ相當減少セシモノト見ラル。

二、今年ノ預貯金増加大シテ期待薄

事情右ノ如クナレハ最近ノ預貯金増加ハ差程渺々シカラス、年初來三月迄ノ處ニ付キ見ルモ銀行預金、郵便貯金、信組貯金ノ増加率ハ平均三・八%ト前年同期間五・九%ニ比シ相當低位ニアリ。且今後ノ増加ヲ豫想スルニ、當地收益ノ大宗タル繭價力蠶糸委員會ニ於テ統制會社ノ買入値段六十掛ト一般ノ豫想ヨリ約十掛低ク可決セラレ、之ニ依レハ生繭一貫目九圓前後トナリ、昨年ニ比シ一圓方ノ下位ニアルノミナラス勞賃、生計費共ニ昂騰シ居レル折柄養蠶家ノ手取り收益ハ可成り低下

スルモノト見ラレ、農家ヲ初メ之ヲ相手トスル商工業者ノ貯蓄源泉ハ相當縮減ヲ餘儀ナクセラル、次第ナレハ今年ノ預貯金増加ニハ大ナル期待ハ懸ケラレス、精々前年並或ハ其以下ニ止マランカト惧レラレ、昭和十六年度長野縣下貯蓄目標ハ一億六千万圓ト昨年度ニ比シ二千万圓増ニ定メラレタルモ之カ達成ハ至難ナルヘシ。

長野縣下養蠶收益累年比較

	平均繭價	總收入	現金支出	差引手取
昭和十四年	一〇〇八 <small>圓</small>	一〇三、八一九 <small>千圓</small>	二四、一一四 <small>千圓</small>	七九、七〇五 <small>千圓</small>
十五年	一〇、一九	九五、六七八	三一、八二八	六三、八五〇
十六年 (豫想)	九、一	八五、〇九八	三三、四一九	五一、六七九

三、製糸資金回收進捗

國用糸界ハ二月以降漸次立直リヲ示シ纖維飢饉益々甚シキヲ豫想セラ
ル、折柄、業況愈々進展シ荷動キ依然活潑ナリ。一方輸出糸價モ一高
一低乍ラ、需給狀態ハ依然堅調ニテ概ネ千五百圓見當ヲ持續シ居レハ
管内銀行ノ製糸資金ノ回收狀況ハ一頃ノ鈍調ヲ脱シ漸次好轉、殊ニ本
月ニ入りテハ既ニ二十日迄ニ三百九十萬圓ヲ回收セリ。

加之本年度ノ製糸業績ハ糸況立直リニ因リ、一頃ノ缺損懸念一掃セラ
レ、且統制會社ノ國用糸賣渡値段段モ十貫九百圓ト現在ノ相場ニ比シ比
較的有利ニ決定セラレ、之ニ依リ現在ノ糸價ハ確實ニ維持セラル、コ
ト、ナリタレハ、本年度ノ製糸資金ハ全額回收ノ見透シ付キタル模様

ナリ。尤モ操業短縮ノ影響モアリ昨年ニ比シ多少ノ回收遅延ハ免レサル見込ナリ。

管内銀行製糸資金回收狀況

十月十五日—十二月末	回收額		回收率	
	本年度	前年度	本年度	前年度
一 月 中	一、二七二一	一、四七一六	三一・九%	三三・七%
二 月 中	三、二六一	六、三〇一	八・一%	一四・四%
三 月 中	三、二二六	四、五二三	八・〇%	一〇・三%
四 月 中	三、四八三	六、五七五	八・七%	一五・〇%
(本年八月二十日迄)	三、八九八	六、〇四二	九・七%	一三・八%
合 計	二六、五八九	三八、一五七	六六・七%	八七・四%
端境期以降最高期迄増額	三九、八四三	四三、六〇五	一〇〇・一%	一〇〇・一%

四 銀行ノ手許寛キ證券投資弗々

一頃釘付ノ感アリシ管内銀行預金ハ客月央ヨリ増勢ニ轉シ、一方製糸資金回收ハ國用糸荷動キ活潑ヲ映シ相當好調ヲ示シ搗テ、國庫金ノ大口撒布行ハレタレハ各銀行ノ手許ハ茲ニ漸ク寛キ當店及ヒ中央市場ヨリノ借入金ヲ完済シタル外尙可成リノ餘裕ヲ有スルニ至レリ。之カ連用トシテハ一部ヲ新製糸資金ノ準備トシテコイル回シニ放出シタル外、大体有價證券投資ニ振り向ケ、國債二百四十五萬圓、社債五十五萬圓ノ購入ヲ見、年初來初メテノ積極的動キヲ示スニ至レリ。

五 新年度製糸資金見込

來ルヘキ新年度製糸資金ノ動向ニ付テハ當地金融業ノ將來ニ多大ノ影

響アリ業者何レモ多大ノ關心ヲ有スル處ナルカ、今後ニ於ケル資金放出ノ様相ハ一ニ懸ツテ爾代金支拂ノ方法ニアリ、速ニ當局ノ明確ナル指示アルヲ待望シ居レリ。現在迄ニ判明セル所ニ依レハ統制後ト雖モ爾取引ハ凡テ舊來ノル『トヲ尊重シ縣ノ指定ニ依リ各養蠶實行組合ト製糸家トノ取引トナルヘク、之カ代金決済亦製糸家カ統制會社ニ代リ實行組合ニ對シ爾引渡ノ際直接七割ノ現金ヲ交付シ残り三割ハ檢定終了ヲ待ツテ支拂フコトニナリ結局統制會社ハ單ニ帳簿上ノ決済ヲ爲スニ止ル模様ナリ。從テ爾出廻期ニ於テ製糸資金カ一時ニ輻輳スルハ全ク從前ト異ラス、當地製糸金融ノ機構ニハ差シテ變化ナキ見込ナリ。統制會社ノ爾標準買入價格ハ六十掛ト決定セラレ、昨年春爾ニ比シ貫

當リ二圖五十錢方ノ低位ニ在リ、自然新年度ノ春爾資金ハ昨年ニ比シ
三割内外ノ減少ヲ見ルヘシト豫想セララル。

製糸資金以外ニ好放資口乏シキ當地銀行トシテハ右ハ頗ル痛手トスル
處ナルカ、他面統制實施後ニ於テハ爾ニ對スル思惑的買付ノ餘地無ク
製糸業ノ經營ハ著シク安定化シ、製糸金融ノ危險性ハ殆ント解消セラ
ルヘシ。從ツテ斯業ノ特異性タル高金利モ漸次引下ヲ見、繭擔保掛目
等貸出條件モ漸次緩和セララル、模様ナリ。

六、市町村ニ對スル債券割當制實施決定

當縣下ニ於ケル債券賣行キハ毎回順調ナル成績ヲ擧ケ居レルモ、之ハ
殆ント系統機關ヲ通シ半強制的ニ消化セラレ居ルモノナレハ、縣當局

ハ更ニ一步ヲ進メ今回任意賣却ト併行シテ各市町村ニ對シ其ノ貯蓄目
標額ヲ基準トシテ割當配布ヲ行フコト、シ來ル六月ヨリ實行スヘク具
体案ヲ考究中ナリ。之カ實施ノ曉ハ僻陬ノ山間部、農村方面ニモ債券
カ行キ亘ルコト、ナリ相當ノ效果アル見込ミナルカ、市部方面ニ於テ
ハ購入餘力ノ識別困難ナルニ加ヘ商業界ノ不穩深刻ナル折柄之カ實施
ハ相當苦心ヲ要スヘキモノト見ラル。

參考計表

(一) 當店主要勘定

四月

前月

前年同月

兌換券

發行

三,三四七千圓

五,三六一千圓

四,一二一千圓

還收

七,二五八

五,九三九

六,一〇八

還收

三,九一〇

五,七八

一,九八七

爲替

流入

三,六八〇

五,九三〇

五,〇七〇

流出

六,九六二

五,〇五〇

三,〇二〇

出超

三,二八二

(入超) 八八〇

(入超) 二,〇五〇

(二) 取引先普通銀行主要勘定

四月廿日現在

前月同日比

前年同月末比

預金

一,八四五〇千圓

(十) 三,八五九千圓

(十) 四,二三〇千圓

項目	本年	前年	比較
借入金	〇千圓	一、三五〇千圓	(-) 一、六六六千圓
貸出	八六七二〇	(-) 三、九一八	(+) 九一三八
內製糸資金	二七〇三八	(-) 四、三八〇	(+) 六、八七一
ヨール	二、〇〇〇	×	(+) 一、〇七〇
所有々價證券	六四一六九	(+) 二、五八〇	(+) 二、四二一四
內國債	三一、八〇六	(+) 一、六二〇	(+) 一三、一九〇
社債	二三、二六一	(+) 九八九	(+) 一〇、三五五

(三) 取引先普通銀行製糸資金貸出

項目	本年	前年	比較
四月十五日	二八、〇七〇千圓	二二、六九三千圓	(+) 五、三七七千圓
端境期以降最高期迄増	三九、八四三	四三、六〇五	(-) 三、七六二
最高期以降減	二五、五五七	三五、六三一	(-) 一〇、〇七四
同收率	六四・一%	八一・七%	(-) 一七・六%

支店長
次長



總裁殿

五月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候

昭和十六年五月三十一日

松本支店長



昭和十六年五月中金融報告

松 本 支 店

- 一、銀行預金十ヶ月振りノ著増
- 二、銀行ノ證券投資旺盛、單名手形減少
- 三、春爾資金昨年ノ二割減
- 四、管内銀行業績豫想
- 五、長野縣下凍霜害狀況
- 六、松本市中小商工業者調査ノ結論

一、銀行預金十ヶ月振りノ著増

愈々農繁期ニ入り都市方面へノ農村人ノ出足漸ク疎ラニシテ、農耕及生活用物資ノ買入一巡模様ト窺ハレ、加之頃來管理米代金ノ配分金、野菜其他農作物賣却代金等ノ農家收入漸増ヲ映シ、農村方面ノ預金増勢顯著、管内普通銀行預金八月初來二十日迄ニ七百七十萬圓（四・一％）ト昨年八月以來ノ激増ヲ示シ居リ、之ニ下旬ノ増加見込約百萬圓ヲ加算セハ月中増加額ハ九百萬圓近クニ上ルヘシ。

二、銀行ノ證券投資旺盛、單名手形減少

右ノ如ク預金増勢顯著ナルニ加ヘ月初來地方稅分與金三百三十萬圓ヲ首メトシ農林省及內務省關係各種補助金、買上代金等ノ國庫金支拂多

額ニ上リタル一方、貸出ハ國用糸ノ賣行良好ヲ映シテ製糸資金ノ回收、
順調ナリシ爲銀行ノ手許資金ハ一層潤澤トナリタリ。之カ資金ノ運用
ニ付テハ既ニ客月ヲ以テ借用金ノ返濟ヲ完了セシ折柄、一部ヲ來月ニ
迫レル春繭資金放出ニ備ヘテ預ケ金、コイルロントナシタル外、總
テ證券投資ニ振り向ケ、月中國債三百三十萬圓、社債四百萬圓ノ購入
ヲナセリ。尙從來單名手形ノ購入多キ銀行モ當店ノ指示ニ從ヒ其ノ一
部ヲ回收シ社債購入ニ振り替ヘタル向モアリタリ。

因ニ今月ノ地方銀行特別引受興業債券ハ理事銀行タル八十二銀行ニ於
テ百二十萬圓ヲ買入レタル外孰レモ見合セタルカ、讓渡質入ノ制限ア
ル本債券ハ概ネ歡迎セラレス、當地ノ理事銀行ハ每度ノ割當ニ多少迷

惑視シ居レリ。

三、春繭資金昨年ノ二割減

管内銀行ノ本年度春繭資金貸出ハ先ツ昨年ノ二割減ト豫想セララル。蓋シ統制會社ノ繭賣渡恒段ハ六十一掛ト昨年春繭八十掛ニ比シ約三割方ノ安値ニ決定セラレンカ昨年度製糸業績不調ニヨル製糸家資力ノ減少モアリテ銀行ノ貸出ハ差程減少セス、大凡二割減程度ト見ラル。尤モ製糸家方面ハ今ノ處、繭配給及生糸製造割當等ニ心ヲ奪ハレ資金調達ニ付テハ頗ル騰揚ニ構ヘ居リ、却テ銀行側カ資金賣込ニ焦ル傾向見受ケラル。

四、管内銀行業績豫想

管内銀行ノ當期業績ヲ豫想スルニ期中運用資金増大セルニモ拘ラス收益狀況サシテ好轉セス略々前期並ニ止ルヘシト見ラル。即チ今期ハ製糸資金ノ回收期ニ當レル上、諸統制ノ進捗ニ高率物ノ貸出漸減、他方餘資ハ舉ケテ有價證券投資ニ向ケラレ、殊ニ國債保有率ノ増加ニ利鞘縮少ノ傾向ニアル爲運用資金増大ノ影響ト相殺セラレタリ。尙有價證券、不動産ノ買賣益亦減少ノ見込ナリ。

一方人件費其他ノ經費ハ引續キ増加シ居リ、加之定期預金ノ増加比較的多キ等ノ事情ニ因リ預金利下ノ效果打消サレコトト低下ハ先ツ望ミ薄ニシテ結局當期ノ純益ハ前期ニ比シ稍々低下ヲ免レサル模様ナレハ、各行共銷却ノ手加減ニヨリ略々前期並ノ決算ヲナスモノト見ラレ、配

當ハ何レモ据置ノ見込ナリ。

五 長野縣下凍霜害狀況

全國有數ノ寒冷地タル當地方ニ於テハ凍霜害ハ殆ト例年ノコト乍ラ、
本月十五日ノ晚霜ハ全縣下ニ亘リ果樹其他ノ農作物ニ損害ヲ與ヘ、特
ニ桑園ニ及セル被害甚大ニシテ昭和二年以來ノコト、謂ハル。縣調査
ニ依レハ桑園ノ被害面積ハ三万三千町步、被害見積金額ハ千百万圓ト
全國ノ被害見積額四千六百万圓ノ二割四分ヲ占メ居リ之カ爲春蠶ハ百
万貫即チ縣割當額ノ三割減收ヲ豫想セララル、ニ至レリ。

之カ應急對策トシテ縣當局及縣農會ニ於テハ農業保險金八十八万九千
圓（被害桑園反當リ二圓七十錢見當）ヲ月末假渡シヲナスト共ニ、被

害三割以上ノモノニ對シ速效性肥料反當り約一貫四百匁ノ特別配給ヲ
ナスコト、決定ヲ見タルカ、孰レモ無キニ優ル程度ニテ損害ノ大ナル
ニ比シ遙ニ及ハス、例年繰返サル、凍霜害ニ對シテハ舊昔ニ戻リ春蠶飼育
ヲ廢止スル等根本的對策論擡頭シ居レリ。

六 松本市中小商工業者調査ノ結論

松本商工會議所ニ於テハ市内中小商工業者六百五軒（業種二十四種）
ニ對シ轉業ニ關スル調査ヲ行ヒタルカ、今回左ノ如キ結論ヲ得タリ。
（一）當地方ニ於テハ一部ノ業種ヲ除キ時局ノ影響ニ依リ轉業問題ニ直面
セルモノ極メテ小數ニシテ大多數ハ現状ノ儘時局ヲ乘切ラントナシ
居ルコト。

(二) 業主ノ平均年齢（四十七、三才）、技能、體力並ニ家族等ノ關係ヨリ

今更時局産業ヘノ轉業及滿洲ヘノ移民カ困難ナルコト。

(三) 經營可成リ困難トナレル向ニ於テモ組合機能ノ強化又ハ企業ノ合
同等ニ依リ現状ヲ打開シ得トナセル者多キコト。

要之家業ニ對スル執著ト大都市ト異リ生計上幾分ノ餘裕ヲ存スルコト
トハ未タ轉業ヲ眞劍ニ考慮セシムル域ニ達シ居ラサルモノ、如シ。

參考計表

(一) 當店主要勘定

		五 月		前 月		前年同月	
		千圓		千圓		千圓	
兌換券發行	發	二、五八四	三、三四七	四、一四二	發	二、五八四	三、三四七
還收	還	八、三六二	七、二五八	七、二六六	還	八、三六二	七、二五八
還收超	還	五、七七八	三、九一〇	三、一二三	還	五、七七八	三、九一〇
爲替	爲				爲		
流入	流	二、九〇〇	三、六八〇	四、一七〇	流	二、九〇〇	三、六八〇
流出	流	一、六二〇	六、九六二	五、九九〇	流	一、六二〇	六、九六二
出超	出	八、七二〇	三、二八二	一、八二〇	出	八、七二〇	三、二八二

(二) 取引先普通銀行主要勘定

	五月二十日現在	前月同日比	前年同月末比
預金	一九六〇九五 <small>千圓</small>	(+) 一、五九五 <small>千圓</small>	(+) 四、五七六、二 <small>千圓</small>
内定期	九八、三六七	(+) 二、五八七	(+) 二、三、四九四
特當	五、四八一六	(+) 四、八一七	(+) 一、四〇〇、五
當座	三五、三九二	(+) 三、九三九	(+) 八、六七四
借用金	一〇〇	(+) 一〇〇	(+) 一〇〇
貸出	八三、六二二	(-) 三、〇九八	(+) 一、二、三六六
内製糸資金	二二、七六八	(-) 四、二七〇	(+) 八、九八四
所有々價證券	七〇、五二三	(+) 六、三五四	(+) 二、五五〇、七
内國債	三六、二九〇	(+) 四、四八四	(+) 一、六、三九七
社債	二五、一二二	(+) 一、八六一	(+) 九、七八九
現金預ケ金	九、七五二	(+) 一、八四〇	(+) 三、六五六
引当金	四、六五〇	(+) 二、六五〇	(-) 三、〇五〇

(三) 取引先普通銀行製糸資金貸出

	本年	前年	比較
五月十五日	二三、二九六 <small>千圓</small>	一七、五四〇 <small>千圓</small>	(+) 五七、五六
端境期以降最高期迄増	三九、八四三	四三、六〇五	(-) 三、七六二
最高期以降減	三〇、三三一	四〇、七八四	(-) 一〇、四五三
同收率	七六・一%	九三・五%	(-) 一七、四%

昭和十六年六月三十日

松本支店長

支店長
次長



總裁殿

六月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候



昭和十六年六月中金融報告

松 本 支 店

- 一、當地季節金融ノ基調變化
- 二、銀行ノ春繭資金貸出狀況
- 三、製糸資金貸出條件ノ緩和ト銀行間ノ協定
- 四、債券割當制ノ實施
- 五、國民貯蓄組合法ト銀行及信用組合方面ノ動キ
- 六、産業組合ノ保險進出ハ大シテ活動ノ見込ナシ

二、當地季節金融ノ基調變化

例年六月ハ春爾出廻期ノコト、テ購爾資金ノ需要一時ニ殺到シ當地金融ヲ著シク季節的ナラシメ居リシカ、本年ノ春爾資金需要ハ統制下可成リノ減少ヲ見込マレ居リシトハ謂ヘ豫想以上ニ激減セシノミナラス、貫當リ六圓ノ内渡金制ノ採用竝ニ縣下ニ於ケル爾代金振込制ノ實施ニ因リ資金ノ一時的流出ハ餘程緩和セラレ、當地季節金融ノ基調ニ著シキ變化ヲ來シ、六月中ノ當店兌換券發行超過額ハ左表ノ如ク前年同期ニ比シ七割六分ノ激減ヲ示セリ。

當店兌換券發行狀況

本 年

昨 年

六月一日ー十五日

還收超

三八五二千圓

一、六五八千圓

一

十六日 一 三十日

發行超

七二六七千圓

一六一二七千圓

六 月 中

三、四一四

一四四六八

尤モ爾代金ノ内渡殘金ハ爾檢定ノ進捗ニ伴ヒ漸次支拂ハルヘク唯今ノ處ハ支拂ノ一部カ繰延ヘラレ居ルニ過キス、又振込制實施ニ因リ現金ノ一時的需要ハ抑制セラル、モ春爾代金カ大部分農家ノ諸支拂ニ充當セラル、等ノ點ニ鑑ミ今後現金ハ或ル程度濟崩シ的ニ流出スルモノト豫測セラル。

二、銀行ノ春爾資金貸出狀況

本月二十日ニ於ケル管内銀行ノ製糸資金貸出殘高ハ二四二二九千圓ト端境期以降ノ増加額僅々三、一二六千圓ニシテ、最近ノ糸價良好ヲ映シ

手持古爾ノ挽急キニヨル舊資金ノ回收増加ヲ考慮ニ入ル、モ尙新規貸付金ノ激減セルヲ認メラレ、本年春爾資金ノ貸出ハ結局昨年比四割程度ノ減少ヲ見込マル、ニ至リ、製糸資金以外ニ好放資口乏シキ當地地元銀行ノ苦慮少ナカラサルモノアリ。

斯クシテ本年ノ上季末金融ハ例年ニ比シ著シク閑散ニシテ各行ノ手許潤澤、當店ニ資金融通ヲ求ムルモノナク（昨年當店季末貸出額高ニ二〇〇千圓）却ツテ興業債券特別引受一五六〇千圓等證券買入ヲ行ヒタル向アリタリ。

三、製糸資金貸出條件ノ緩和ト銀行間ノ協定

蠶糸業統制ノ結果製糸業カ從來ニ比シ著シク安定性ヲ帶フルニ至リタ

ル爲從來高金利ヲ以テ有名ナリシ當地製糸資金貸出條件ハ一般ニ相續
低下ヲ豫想セラレ、地元銀行ノ如キハ日歩一錢六厘中心ト昨年ニ比シ
一、二厘方ノ緩和ヲ豫定シ居タリ。當店トシテハ此ノ間餘リニ行キ過
キタル條件ノ低下ハ當地銀行ノ經營上面白カラストシテ警戒シ居リタ
ル處、愈々春繭出廻期ニ入ルヤ前記ノ如キ製糸資金需要激減ト相俟チ、
各銀行間ニ投資口ノ維持擴張、特ニ統制ニヨル新規取引先ノ獲得ヲ繞
ツテ相當激シキ競争展開セラレ支店銀行側ニハ繭擔保日歩一錢二厘ト
謂フ季節的製糸資金トシテハ異例的ノ低利ヲ以テ融通セントスル動キ
モ現ハレ、地元銀行亦勢ヒ之ニ引キヅラレテ豫想外ニ貸出條件ノ低下
ヲ來シ、貸出競争行過キノ弊ヲ生シ兼ネマジキ情勢トナレリ。仍テ

當店ハ極力各行間ノ協調、自肅ヲ要望シ此際無用ノ競争ヲ避クル様勸
説シタル結果、去ル六月十八日縣下製糸資金關係銀行ノ申合内定シ、
地元銀行ハ繭及生糸擔保貸出日歩一錢五厘、支店銀行ハ一錢四厘ヲ夫
々最低トシテ相互ニ協調ヲ保チテ臨ムコト、ナリタリ。

四、債券割當制ノ實施

長野縣當局ハ今回賣出ノ國債、貯蓄債券及報國債券ヲ各市町村ニ割當
テ、市町村ハ隣組又ハ部落常會ヲ通シテ各戸ニ適當ニ割當テタルカ、
理屈上ハ兎モ角實質ハ全ク強制的ニシテ各戸何レモ割當額ノ購入ヲ行
ヒタル模様ナリ。之ニ對スル一般ノ空氣トシテハ大體表面的ニハ異論
ナク、特ニ農村方面ニ於テハ時局柄尤モトセル向多キモ、都市ノ俸給

賃金生活者等ノ中ニハ内心苦情ヲ抱ケル者モ相當アルカ如シ。今本割
當制ニ對スル功罪ヲ各方面ニ付キ窺フニ

1 從來ノ購入者ハ極ク小數ノ富裕階級ニ限ラレタルモ今回ハ全戸ニ行
渡リ、債券ノ普及ニ役立つ處多シ

2 郵便局、銀行其他賣捌機關ノ勧誘手數ノ省略

3 季節的収入ノ農村トシテハ割當ノ場合態々貯金引出ヲナス者多ク國
家的ニ見テ無用ノ手數トナル

4 相當多額ヲ消化シ得ル向モ割當ラレタル程度ニ止ムルト共ニ生活ニ
餘裕ナキ者ニハ負擔過重トナル嫌アリ

從ツテ割當制ノ實施ニ當リテモ從來ノ方法ヲ加味シ先ツ勧誘賣却ヲ行

ヒ、賣殘リタル分ヲ割當制ニ依リテ消化セシムルヲ可トスヘシトナス
向アリ。

五 國民貯蓄組合法ト銀行及信用組合方面ノ動キ

國民貯蓄組合法ハ十九日公布セラレタル同法施行規則ト共ニ二十日ヨ
リ實施セラレタルカ、右ニ對スル銀行及信用組合方面ノ動キヲ窺フニ
信用組合ニ於テハ各隣組、町會等ニ印刷物ヲ配布シ組合ヘノ預入ヲ勸
奨、可成リ積極的動キヲ示シ居レルモ、銀行側ニ於テハ之ニヨリ集メ
得ル預金ノ零細ナルコトヲ豫想シ必スシモ積極的ナラス、從來ヨリ取
引アリタル此種組合ノ國民貯蓄組合法ニ基ク組織替ヲ考慮スル程度ニ
止マリ居レリ。

而シテ實際問題トシテハ人口七万餘ノ當市ニ於テ既ニ各職場及町内會等ヲ單位トシテ三月末現在ニテ二五四組合（組合員數三七一三三名）アル狀況ナレハ、組合ノ新規結成ノ餘地極メテ少シト見ラル。

六、産業組合ノ保險進出ハ大シテ活動ノ見込ナシ

産業組合カ有隣生命ノ代理店トシテ保險事業ニ關與スルコト、ナリテ以來、長野縣下ニ於テハ早クモ百六十餘ノ組合（組合長又ハ役員ノ個人名義ニテ）カ同社代理店ノ看板ヲ掲ケタルカ、其ノ活動狀況ヲ見ルニ代理店トハ名ノミニテ多クハ組合本來ノ事業ニ忙殺セラレ未タ何等業績ノ見ルヘキモノナシ。又今後ノ見込ニ就キテモ保險事業カ産組本來ノ業務トハ實質上何等ノ關係ナキノミナラス特ニ農村ニ於ケル保險

加入者ハ概ネ富裕階級ニテ資産ノ秘密ニハ相當關心ヲ有シ居レハ其ノ
間ノ事情ハ米穀代金ノ貯金振込カ容易ニ行ハレタルト同日ノ比ニ非ス、
産業組合ノ現在ノ機構ヲ以テセハ專問ノ代理店ノ間ニ互シテ契約ノ獲
得ハ大シテ期待シ得ラレサルモノト見ラル。尤モ組合ノ常務役職員ノ
爲ノ福利施設トシテノ契約獲得（之等ノ人ヲ被保險者トシ保險料ノ全
部又ハ一部ヲ組合ニ於テ負擔ス）ヲ企ツル向アレト之トテ目下ノ市町
村産業組合ノ實情トシテハ一般的ニハ其ノ餘力ニ乏シク結局産業組合
ノ保險進出ハ大シテ見込ナキモノト見ラル。

參考計表

(一) 當店主要勘定

爲替		兌換券		發行		還收		發行		爲替	
入	出	入	出	超	收	超	行	行	收	替	入
四七二〇	五四〇〇	一九一〇	一〇一〇	(出超)八七二〇	三、四一四	五九六五	九三八〇	二、五八四	一八八九八	六	前
		二、九〇〇	一、六二〇		(還收超)五七七八	八、三六二	千圓	千圓	四、四三〇	月	前年同月
一四、五九五	三、七一〇	一八、三〇五			一四、四六八						

(二) 取引先普通銀行主要勘定

	六月廿日現在	前月同日比	前年同月末比
預金	二〇二、八四七千圓	(+) 六、七五二千圓	(+) 五、一八六九千圓
借用金	七〇〇	(+) 六〇〇	(-) 七、一〇〇
貸出	八六一八四	(+) 二、五六二	(-) 二、〇五一
内製糸資金	二四二二九	(+) 一、四六一	(-) 一、〇九三六
コイルローン	三、五〇〇	(-) 一、一五〇	(+) 一、九三〇
所有々價證券	七四、五七二	(+) 四、〇四九	(+) 二、八一六六
内國債	三七、〇〇三	(+) 七、一三	(+) 一、三一三〇

(三) 管内銀行製糸資金貸出狀況

	本年	前年
六月廿日現在高	二四、二二九千圓	三〇、六六〇千圓 (六月廿四日)
端境期以降増	三、一二六	一、六八七六

對 掛 金

二〇二八

昭和十六年七月三十一日

松本支店長

支店長



次長



總

裁

殿

七月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候



昭和十六年七月中金融報告

松 本 支 店

- 一。米國ノ資金凍結令實施ニモ當地金融界及製糸業界極メテ平靜
- 二。管内現金移動著減
- 三。製糸資金貸出狀況
- 四。繭代金振込制度ノ效果
- 五。國民貯蓄組合ニ對スル金利申合セ
- 六。豆債券賣行良好
- 七。外國人關係取引取締規則ノ影響殆ントナシ

一、米國ノ資金凍結令實施ニモ當地金融界及製糸業界極メテ平靜

製糸業界ハ既ニ最惡ノ場合ヲ豫想シ蠶糸業統制法ニヨリ萬全ノ備ヘヲ整ヘ居タル爲、米國ノ資金凍結令實施後モ何等動搖ノ色無ク、金融界亦極メテ平靜ニテ同國今後ノ生糸對策ヲ靜觀シ居レリ。即チ

ノ新糸ニ付テハ國用糸ハ總テ公定價格ニヨル統制會社ノ買入トナリ、自由市場賣却ノ輸出生糸ニ付テモ政府ノ無制限買上ニヨリ下値ヲ保證サレ居ルコト、テ、製糸業ノ經營ハ全ク安定シ居ルコト

二古糸ニ付テハ專ラ國用製糸家筋ニ若干ノ手持アルニ過キス然カモ之等ノ約定ハ概ネ統制會社ノ賣渡値段ト大差ナク、且ツ右賣渡値段ハ今年度中ハ變更セサル聲明アリタル爲、目下ノ處機業地方面ヨリ解

約、値引等ノ交渉モ無ク、大體圓滑ニ受渡シ得ル見込ナルコト

今後對米生糸輸出ハ同國ノ絹業事情ヨリ尙相當額ハ可能ナルモノト見ラル、モ、萬一輸出不能ノ場合ニ於テハ國內ニテ大體消化シ得ル見込アリト云ハレ、且輸出製糸家ノ内需轉換ニ處スル技術的準備モ殆ント完了セルコト

等ノ事情ニヨリ製糸關係業者並ニ金融業者共斯業ノ前途ニ就キ少クトモ當面何等ノ懸念ナシトシ、當局今後ノ施策ヲ信賴シ居レリ。然シ乍ラ既ニ國際情勢斯クナレル以上、輸出生糸ノ自由市場賣却ノ容認ハ全く其ノ意義ヲ失ヒタルモノナレハ國用糸同様統制會社ノ一手買上トナスヘシトスル意見少ナカラス。

二、管内現金移動著減

縣内春繭出廻ハ本月上旬ヲ以テ大體一巡、アト僅カニ山間部ノ少量ヲ殘スノミトナリ、季節的ニ繭代金還流期ニ入りタルカ、本年ハ現金ノ移動甚タ少ク、銀行郵便局ノ窓口亦閑散ニシテ當店兌換券ニ付キ見ルモ還收超過ニ轉シテ以來二十五日迄ノ累計三、〇二三千圓ト前年同期ニ比シ約三割ニ止リタリ。

右ハ主トシテ本年春繭價格安ノ外縣内ニ於ケル振込制度ノ實施ニヨリ繭代金支拂カ殆ント現金ヲ以テ行ハレサリシニ因ルモノニシテ、春繭出廻期中ノ當店兌換券發行超過額カ前年ノ半額ナリシヨリスルモ還流ノ激減ハ當然トナスヘシ。從來農村方面ハ春繭代金ノ入手ヲ待チ兼ネテ

掛買ノ支拂、日用品ノ購入ニ充テ、相當多額ノ現金移動ヲ見ルヲ常トセルカ、本年ハ之等支拂ノ大部分カ産業組合内部ニ於ケル振替ニヨリ行ハレ、且又手許現金ノ少キト、店頭商品ノ不足乃至粗悪化ノ爲メ一般小賣市況一向ニ彈マス、自然管内ニ於ケル現金移動ハ著シク減退セリ。既ニ當地ニ於テハ都市商人方面ノ手持現金ハ七、七禁令以來商取引不振、配給統制ノ強化等ニヨリ漸減シ來レルカ、今又農村方面ノ現金需要モ減退スルコト、ナリ管内ノ通貨情勢ハ稍變貌ヲ呈スルニ至レリ。

尙之ト共ニ郵便貯金、銀行預金等ノ季節的增加ハ見ラレス、之ニ代リテ産業組合貯金ノ一時的増加目立テルカ、今後何ノ程度郵貯、銀行預金

本會... 二...
 管...
 中...

へ移行スルヤハ問題視セララル、處ナリ。

三、製糸資金貸出状況

管内銀行ノ春繭資金貸出ハ例年通り本月央ヲ以テ一段落ヲ告ケタルカ其狀況ヲ窺フニ次ノ如シ

管内銀行製糸資金貸出状況

	端境期(五月末)残高	七月十五日残高	端境期以降増加
本年	二一、一〇三 千圓	三〇、〇六二 千圓	八、九五九 千圓
前年	一三、七八四	三八、四四七	二四、六六三
對前年比較	(+) 七、三一九	(-) 八、三八五	(-) 一、五七〇 四

即チ端境期以降ノ増加額ハ前年ニ比シ一五七〇四千圓ト六割三分餘ノ

激減ヲ示シ居ルモ、實際ハ端境期ニ於ケル前年比七百餘万圓ノ貸出増加額ノ大部分ハ釜數封印ヲ主因トスル持越古爾ノ多カリシコトニ依ルモノナレハ之カ回收ニヨル殘高ノ縮少ハ除外スルヲ要シ、假ニ本月央迄ノ回收ヲ其七割五〇〇千圓ト抑アレハ、端境期以降ノ製糸資金實際増加額ハ一三、五九五千圓トナリ前年同期ニ比較シ四割餘ノ減少ナリ。而シテ右ハ爾ノ減産並ニ掛目安ニ因ルコト勿論ナカラ、檢定遲延ニ因ル精算金ノ支拂未濟モ亦一因トシテ擧ケラレ居レリ。斯クシテ管内銀行ノ資金運用狀況ハ例年ト全ク趣ヲ異ニシ、春爾資金出盛期ニモ拘ラス月中八十二銀行ノ興債引受一八〇千圓ヲ首メトシ國債其他有價證券投資モ相當行ハレタリ。

次ニ夏秋繭資金ニ就キ豫想スルニ、事情ハ春繭ノ場合ト異ナリ繭生産量ノ減少ニモ拘ラス左ノ理由ニ因リ昨年ニ比較シ大シテ減少セサルモノト見ラル。

ノ夏秋繭價ニ就キテハ昨年ト大差ナシ

十五製糸年度ニ於ケル當地製糸家ノ夏秋繭釜入平均掛目ハ六六掛五ニシテ本年度釜入標準六五掛ニ比シ大差ナク、又春繭同様差當り貫六圓ノ前渡金ノミニテ足ルコトヲ考慮ニ入ル、モ、遅延セル春繭分精算金ノ支拂期ト重ナリ資金需要減少ノ理由トナラサルコト。

2 春挽原料繭ノ當用買消減

從來翌年春挽原料ハ越年後ノ乾繭仕入ニ俟チタル製糸家モ今回ハ割當分ヲ生繭ニテ一時ニ引取ルコト、ナリタル爲資金ノ回轉ヲ計ル餘

地ナク夫々ケ銀行ノ貸出増加トナルコト
四 繭代金振込制度ノ效果

縣下繭代金ハ縣當局並ニ當店ノ慫慂ニヨリ全般的ニ振込制度ヲ實施、
關係業者亦全面的協力ヲ惜マサリシ爲春繭代金ノ振込ハ極メテ圓滑ニ
行ハレ、現金使用ノ節約並ニ貯蓄獎勵ノ見地ヨリ豫期以上ノ效果ヲ收
メ得タリ。

而シテ銀行ト信用組合トノ間ニ於ケル振込ノ分野ニ就テ見ルニ、地理
的關係ヨリ産組振込ヲ便利トスル實行組合ノ多カリシコト、銀行側ニ
於テ預金額ニ比シ手數多キヲ懸念シ之カ獲得ニ熱意足ラサリシモノア
リタル爲大部分ハ信用組合ヲ利用スルコト、ナリタリ。只上伊那銀行
ニ於テハ手數ノ如何ニ拘ラス之カ獲得ニヨリ農家トノ預金額トヲツ

ケ得ルトナシ勸誘ニ努メタル結果、該地方ノ組合製糸關係以外ノ養蠶
實行組合總數二一八組合ノ内一八〇組合ノ預金口座ヲ獲得セリ。而シ
テ養實ノ口座ヨリ更ニ各組合員別口座ニ振込ム際發行スル通帳ハ何分
多數ニ上ルコト、テ（上伊那銀行ハ約二千冊發行）郵便貯金式簡易通
帳ヲ使用シ居レリ。

當初春繭代金ハ一旦預金ノ形ヲトルモ春蠶ノ常トシテ直ニ殆ト全部引
出サル、モノト覺悟シ居リタル處、上伊那銀行ノ實績ニ依レハ振込繭
代金三三九千圓ノ内七月十五日現在預金トシテ残り居レル額ハ七〇千
圓ト約二割ニ達シ春繭代金トシテハ豫想外ノ好成績ヲ收メ夏秋繭ニ至
リテハ一層ノ歩止マリヲ豫想セシムルモノアリ。信用組合扱ノ分ハ更

ニ成績良好ニシテ多キハ六割カ貯金トシテ残りタリト謂ハル。
斯ク蘭代金振込制カ劃期的成功ヲ收メタル影響トシテ、例年蘭市場等
ヨリノ歸途養蠶家カ飲食店、商店街ヲ賑ハシ居タルニ反シ、本年ハ蘭
ヲ受渡場所ニ持込ムモ現金ヲ手ニセサル爲メ此ノ風景ハ見ラレス、此
ノ方面ハ蘭出廻期ニモ平常ト變ラサル靜ケサヲ示シタリ。

五 國民貯蓄組合ニ對スル金利申合セ

今回實施セラレタル國民貯蓄組合法ニ即應シ、縣内各地ノ同盟銀行ハ
同法ニ基キ設立セラレタル組合貯金ノ取扱ニ關シ、定期預金ニ付テハ
年利甲種三分三厘乙種三分四厘、据置ニ付テハ甲乙種共日歩九厘其他
東京預金利子協定加盟銀行ト同様ノ申合セラ行ヒ直チニ實施セリ。

尙國民貯蓄組合ニ對スル銀行側ノ態度ハ從來ヨリ取引アル既設組合組織ノ擴充、強化ヲ斡旋スル外、商工同種業者間ニテ新ニ組織セラレ、モノ、如キ比較的大口ノ預金ヲ集メ得ルモノニ對シテハ其ノ結成ヲ指導援助スル等可成リ積極的態度ヲ示シ居レリ。

六、豆債券賣行良好

本月十五日ヨリ賣出ノ第一回豆債券ハ當初ノ豫想以上ニ賣行良好、旬口ニシテ賣切ノ盛況ヲ呈セリ。購買者ハ主トシテ富裕階級ニテ當地勸銀支店、郵便局ニテハ纏リタル大口申込者ニテ殆ント占メラレ、小口ノ購買者ハ大体煙草店頭ニ赴キタルモノ、如シ。

斯ク賣行良好ナル理由ハ券面小額ナル爲一定ノ購入金額ニテハ貯蓄債

券、報國債券ニ比シ當籤ノ可能性多ク且第一回當籤洩ノ分ハ他種債券ト引換可能ナルコト及ヒ償還年限ノ短キコト等カ一般ニ魅力トナレルモノト見ラル。尤モ今後回數ヲ重ヌルニ從ヒ現在ノ如キ盛況ヲ持續スルコトハ困難ナルヘシ。

七、外國人關係取引取締規則ノ影響殆ントナシ

管内ニハ外國人關係ノ財産、事業ハ特ニ見ルヘキモノナク、僅カニ輕井澤ヲ首メ各避暑地ニ於ケル指定外國人預金一〇千圓、別荘若干アル程度ニ止マレハ右取締規則ノ影響ハ差シタルコトナシ。

參考計表

(一) 當店主要勘定

		七	月	前	月	前	年	同	月
兌換券	千圓								
發行	千圓	四二八七		九三八〇		六三一〇			
還收		六四六六		五九六五		一五一三七			
還收超		二一七八		(發行超) 三四一四		八八二七			
爲替									
流入		五三八〇		一〇一二〇		九三三〇			
流出		五八〇〇		五四〇〇		七八四一			
出超		四二〇		(入超) 四七二〇		(入超) 二四八九			

(二) 取引先普通銀行主要勘定

項目	七月廿日現在		前月同日比		前年同月末比	
	金額	千圓	金額	千圓	金額	千圓
預金	二〇四四四四		一、五九七		五二、五五二	
借用金	二、五〇〇	(+)	一、八〇〇	(+)	二、六〇〇	(-)
貸出	九〇、九五六	(+)	四七、七七二	(+)	二、九七一	(+)
内製糸資金	二九、六四八	(+)	五、四一九	(-)	七、五七六	(-)
所有々價證券	七九、一三六	(+)	四、五六四	(+)	二、九八六	(+)
内國債	三八、六九五	(+)	一、六九二	(+)	一、四七一	(+)
コイルロシ	二、一〇〇	(-)	一、四〇〇	(+)	九一〇	(+)

昭和十六年八月三十日

松本支店長

支店長



總裁殿

八月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候也



支店
六
員

昭和十六年八月中金融報告

松
本
支
店

- 一、地元銀行ノ非常時對策進捗
- 二、季節的資金需要期ニモ不拘通貨ノ需要ハ寧口減退セリ
- 三、安値輸出糸ノ壓迫ニ因ル國用糸問屋ノ荷問エ
- 四、生糸製造割當減少見込ト當地製糸家ノ動向
- 五、米ノ二重價格制實施決定ニ増産氣構ヘラル

一、地元銀行ノ非常時對策進捗

當地金融ノ根幹ヲナス製糸資金貸出カ蠶糸業統制法實施ニ因リ著減シ
ツ、アルニモ不拘、月中ノ當店割引手形殘高八月央夏爾並ニ益資金ト
シテ七〇〇千圓、月末亦初秋爾並ニ月末資金トシテ八〇〇千圓ト前年
同期ノ皆無ナリシニ比シ著シク趣ヲ異ニセルカ、右ハ地元銀行ノ臨戰
態勢ヘノ轉換ヲ示スモノトシテ注目セラル。

即チ有力地元銀行ハ從來有價證券ノ大部分ヲ東京支店ニ置キ、資金必
要ノ際ハ之ニ依リヨールマネー或ハ借入金ヲ行ヒ當地ニ取寄セ居リ、
中央ニ於ケル資金調達不利ナル場合ニ限り當店ヨリ貸出ヲ仰クヲ常ト
セルカ、最近ノ國際情勢緊迫ニ鑑ミ中央トノ連絡不能ノ場合ヲ豫想シ

之カ對策トシテ有價證券ノ大部分ヲ當地ニ移シ、今後ノ資金調達ハ專
ラ當店ヨリノ融通ニ依ル方針ヲ樹テタリ。旁々取引先地元銀行ノ當店
ニ差入レタル据置擔保品ノ如キモ八月末一四二三四千圓ト前月末ニ比
シ一躍一、六六四千圓ヲ増加、又披封保護預トシテ社債一、四九〇千
圓ノ寄託アリタリ。

尙長野市所在長野貯蓄銀行ハ時局ニ鑑ミ萬一ノ場合ニ備フル爲當店ト
ノ間ニ當座預金取引並ニ保證品附手形割引取引開始方願出ツル等、地
元銀行ノ非常時對策ハ遅レ走セナカラ着々整備セラレタリ。

二、季節的資金需要期ニモ不拘通貨ノ需要ハ寧口減退セリ

八月ハ上旬中夏爾ノ出廻リアリ次イテ月遅レ益決濟行ハル、等毎年月

央迄ニ當店兌換券ハ多額ノ發行超ヲ見ル例ナルカ、本年ハ發行超ニ轉シテ以來月央迄ノ超過額四七二七千圓ト前年同期ノ六五七二千圓ニ比シ約三割ノ減少ヲ示セリ。

右ハ(一)兩代金ノ振込制ニ因リ現金需要減少セルコト

(二)農村方面ニ於テモ一般ニ現金取引行ハレ益決濟ノ慣習著シク減少セルコト

(三)國債及債券ノ割當並ニ各種團體ニ於ケル組合貯金等ニ購買力ヲ吸收セラレ商店街ニモ所謂盆景氣ノ見ラレサルコト

等ニ因ルモノト見ラル。

而シテ月央後ハ還超ニ轉シタルモ下旬ニ入りテ關東平ノ初秋兩仕入ニ

向ヒタルコト、テ月末資金手當旁々現金需要増加シタレハ結局次表ノ如ク通月還收超 四八五千圓トナリ前年ニ比シ四八〇千圓ノ還超増ヲ示シタリ。

	本 月	前 年 同 月
兌 換 券	(還收超) 四八五 <small>千圓</small>	(還收超) 五 <small>千圓</small>
補助貨及小額紙幣	(拂 超) 一七三	(拂 超) 二三九

斯クシテ下旬地方分與稅分與金ノ國庫支出二、三五〇千圓アリタルモ當地方ニ撒布セラレス直ニ東送セラル、等通貨需要ノ減退ヲ如實ニ示セリ。

三、安値輸出糸ノ壓迫ニ因ル國用糸問屋ノ荷問エ

米國ノ本邦資金凍結後、生糸ノ輸出ハ全面的ニ杜絶シタレハ、輸出糸價暴落、十五年度産國用糸亦自由賣却ヲ認メラレ居ルコト、テ之ニ追隨セルモ、製糸家ハ

(一) 本年三月以降最近迄ノ糸價良好ニ利潤相當多カリシコト (二) 古糸ノ手持僅少ナルコト (三) 新糸ニ就キテハ公定價格ニテ買上ケラル、國用糸ハ勿論、自由市場賣却ノ輸出糸ニ於テモ現在ノ價格ニテ兎モ角採算ヲ維持シ得ルコト、等ノ理由ニ因リ差當ツテ衝擊ヲ感シ居ラサルカ、今後生糸ノ内需轉換ニ伴ヒ製造割當カ現在以上減少スルコト、モナラハ重大問題ナリトシ政府今後ノ對策ヲ注目シ居レリ。

生糸ノ輸出杜絶ニ因ル當面ノ影響ハ寧ロ國用糸問屋方面ニ顯著ニシテ、
問屋ハ安値輸出糸ノ壓迫ニヨル國用糸ノ賣行不振ニ荷聞エヲ生シ、之
カ金利並ニ倉敷料ノミニテモ相當額ニ達シ苦惱少ナカラサルモノアリ。
即チ輸出杜絶以來輸出糸價ハ國用糸公定價格ヲ遙ニ下廻ルノ状態トナ
リシカハ、機屋ハ輸出糸ニ買向ヒ、國用糸ニ付テハ既約定ノモノニテ
モ切符ノ配給少キコトヲ口實ニ引取遷延ヲ圖ル向現ハレタリ。
元來機屋ハ値頃ニ於テ同様ナラハ輸出糸ヨリモ寧ロ自家ニ適シタル品
種ノ國用糸ヲ選フモノナルカ、目下ノ如ク値開キ大ナル場合ニ輸出糸
ヲ買進ムハ當然ニシテ、此儘ニ推移セハ、生産地問屋ノ滞荷ハ漸増シ、
問屋ハ資金的ニモ苦境ニ立至ルヘシト憂慮セラレ居レリ。

而シテ之カ對策トシテハ(一)輸出糸ニ付テモ自由市場買却ヲ認メス全部
統制會社ニテ買上クルコト(二)切符ノ配給ヲ現在ノ如ク期ノ半ニ於テセ
ス二三ヶ月分取纏メ事前ニ行ヒ生糸ノ消費ニ付テモ計畫性ヲ持タシム
ルコト、カ根本問題トシテ要望セラレ居レリ。

蓋シ國際情勢既ニ斯クナレル以上、輸出生糸ノ自由賣却容認ハ全ク其
ノ意義ヲ失ヒタルモノト云フヘク、加之國用糸ノ取引ヲ阻害スルトセ
ハ放任シ得サル問題ナリ。又機屋ノ原料仕入切符ハ現在ノ處七八九ノ
三ヶ月分ノ後期ノモノカ未交付ノ状態ニテ切符ノ配給ハ常ニ遲延シ、
之カ爲ニ問屋ニ於テモ仕入ノ目標立タサル實情ナレハ、生糸ノ生産カ
計畫的ニ行ハル、今日之カ消費部面タル織物ノ製造ニモ計畫性ヲ持タ

シムル爲、例へハ七一九ノモノハ六、七月ノ頃ニ交付スル等切符ノ配給ヲ事前ニ行フ必要アルヘシ。

四、生糸製造割當減少見込ト當地製糸家ノ動向

政府ハ現下ノ國際情勢ニ鑑ミ本年度生糸生産計畫數量五十五万俵中輸出向十萬俵ノ減産ヲ斷行シ、之カ餘剩原料ヲ短纖維ニ向ケルヘク近ク具體案決定ヲ見ルヘシト傳ヘラル、カ、生糸製造割當ノ減少ハ製糸業ヲ主要産業トスル當地トシテハ至大ノ關心ヲ有スル處ニシテ業者ハ等シク成行ヲ注目シ居レリ。

由來當縣ニテ製造セル生糸ハ一ヶ年約十六万俵ニ上リタルカ統制法實施ニ伴ヒ本縣ヘノ生糸製造割當ハ十三万六千俵トナリタリ。然ルニ今